

令和6年度2学期終業式 式辞

おはようございます。校長の川崎芳徳です。

2学期の最終日にあたり、一言ごあいさつを述べさせていただきます。

どんな2学期だったでしょうか。大きな学校行事が目白押しでしたね。生涯、忘れることのない、大切な思い出がたくさんできたのではないのでしょうか。

5年次のニュージーランドへの研修旅行、生涯を通して、なかなかニュージーランドまでは行けないです。私が、結団式の際に、アルパカを飼っている家庭もあるというお話をさせていただいたところ、ニュージーランドで撮影したアルパカのかわいい動画を、帰国後早速に、朝、正門で5Aのキャンディーミリカさんが見せてくれ、大変癒やされました…ありがとうございました。16日の研修旅行報告会では、オールブラックス、食べ物、ファームステイでの生活、動物とのふれあい、お土産、訪問した学校、そして4年次生へのアドバイスなど、詳しく楽しく行ってくれました。オープニングでの歌、よさこいソーラン、ハカも最高でした。

体育大会では、6Aの清村元（きよむらげん）サムエルさん、黒田 ゆりさん、6Bの鄧 正 熙（とう せい き）さん、ヴィラゴメス愛梨（あいり）さん、4名の宣誓…これまで多くの全国大会等での宣誓を見てきましたが、それらを上回る、あまりに素晴らしいものでした。そして、伝統の6年次の見事な学年種目、ダンスで締めくくってくれました。これらの取組は、皆さんの生涯の財産となり、ときに、それを思い出すことで、未来の皆さん自身を励ましてくれる、生涯の大きなエネルギーとなることだと確信しています。

また、部活動や、部活動以外でも、表彰式でありましたとおり、多方面で素晴らしい活躍が見られました。加えて、表彰状こそないけれど、先週金曜日から、被災地、能登半島へボランティアに行かれた4年次生12名も含め、私は、皆さんが、キラキラと目を輝かせて、自分らしさを発揮しながら躍動している姿から、いつも大きなパワーをもらっています。皆さんの活躍は、校長として誇らしい限りです。

さて、6年次の皆さん、「終業式」は、今日が最後になりますね。

今、多くのことを我慢して、日々努力を続けていることと思います。抱えているストレス、困難な状況でのせめぎ合いは、皆さんの血となり肉となり、この難局を乗り越えたとき、人間力を確実に、そして飛躍的に高めます。先日の後期生対象の講演会の講師、北出雅人さんの表現をお借りしますと、今まさに、地中に根を伸ばし栄養をどんどん吸収している時期…この後には、必ず、周囲の人までも笑顔にする満開の桜が待っているのです。

17期生全体の空気・雰囲気、勢いを大切に、皆で良い環境を創り上げ「運氣」を上げ、「できる」「できる」「できる！」と、互いにエネルギー、パワー、

元気を供給しあいながら、全員、納得の結果が得られるよう突き進んでいってください。最後の最後まで応援しています。決して孤独な挑戦ではありません。

最後にもう一つ、クリスマスイヴですので dreamy なお話しを…

「ペイル・ブルー・ドット」って聞いたことがありますか。ペイルは「pale」で「薄い」、ブルーは「blue」で「青」、ドットは「dot」で「点」…「薄い青色の点」…印刷してきましたが、これではわかりにくいですかね…



アメリカ航空宇宙局 (NASA) によって、今から47年前の1977年9月5日に打ち上げられた惑星探査機「ボイジャー1号」が、打ち上げから13年後の1990年2月14日に、約60億km彼方からの地球を撮影したんですね…広大な宇宙に対して、地球は0.12ピクセル(ピクセル:デジタル画像を構成する最小単位で、画素とも呼ばれる)の小さな点でしかないんですね。この写真に写った地球が、薄い青色の点であることから、「ペイル・ブルー・ドット」と呼ばれているんです。

そして、「ボイジャー1号」は、太陽系の外に出た初めての探査機となり、地球から最も遠く離れた人工物であるというわけです。

「ボイジャー1号」、今も飛んでいまして、現在位置は、NASAジェット推進研究所のウェブサイト(Mission Status)でリアルタイムで知ることができます。昨日、このサイトを見てみますと、昨日朝10時時点の位置は、地球から約249億1628万km、地球と太陽の距離の約167倍の位置を飛んでいます…想像つかないですね…。

ここで、私が最も興味深いのは、この「ボイジャー1号」に、ある物を積んでいるってことなんです…知っている人がいますか…この写真…金色の丸いもの…レコードなんです。



「ゴールデンレコード」と呼ばれるレコードが搭載されていまして、そこには、地球の「生命」や「文化」の存在を伝える「音」や「画像」が収めら

れ、「地球外知的生命体」や「未来の人類」が見つけて解読することに期待を寄せているというのです。すごいでしょ。興味深いですよ。

「ゴールデンレコード」には、人間などを描いた115枚の画像と、雨の音、波のぶつかる音、風が木の葉を揺らす音、雷、鯨や犬の鳴き声、キスの音、人間の鼓動…心臓の響きですね、さらに様々な文化や時代の音楽…ベートーヴェンの「運命」も含まれています。また、55種類の言語でのあいさつ、加えて、当時のアメリカ大統領、ジミー・カーター氏と国際連合事務総長クルト・ヴァルトハイム氏からのメッセージ文なども入れられました。

これらのメッセージ…そうなのです…私たち「地球人」からのメッセージなのです。綺麗な「ペイル・ブルー・ドット」の中で生きる同じ地球人同士が、差別し合ったり爆弾を投げ合って殺し合ったり…他の星の生命体からすれば、この美しい「ペイル・ブルー・ドット」から想像もつかない、あまりにも愚かな事ではないでしょうか。

さてさて、この「ゴールデンレコード」、どこかの惑星にたどりつくのでしょうか。それとも私たち人類の子孫がいつか回収するのでしょうか。太陽系を出ても寿命10億年以上に設定された「ゴールデンレコード」は、今この瞬間も宇宙空間を漂い続けているのです。皆さん、幼い時のように、たまにはゆっくりと空を見上げて思いを巡らせてみようではありませんか♪

今年も1年が終わります。14日間の冬休み、1年を振り返り、そして新年を迎え1年を誓う。この貴重な時間の中、「命」「宇宙」「地球」「平和」「感謝」「家族」「友達」「幸せ」「生きる目的」「本当に大切なこと」…こんなことを思い心を整え、自らの中心に宿る「魂」をさらに磨き安定させ、令和7年、2025年、復活と再生、新しいことが始まり実を結ぶ蛇、巳年（みどし）を迎えましょう！

それでは、クリスマス、お正月と、楽しい時間も待っています。今日の午後には、吹奏楽部が「ウインターコンサート」でクリスマスムードを盛り上げてくれます。

健康には気をつけ、何より大切な「命」に感謝しながら、1月8日、元気な皆さんの笑顔と再会できますことを楽しみにしまして、令和6年度2学期終業式の「式辞」とします。

皆さん、この一年、本当によく頑張りましたね。どうぞ良いお年を♪

令和6年12月24日

兵庫県立芦屋国際中等教育学校長 川崎 芳徳